

# 海外安全対策の温故知新

## ——日外協「海外安全センター」発足30周年

日外協に海外安全センターができて今年で30年になる。

きっかけは1990年のイラクによるクウェート侵攻。クウェートを自国領と主張するイラクは、クウェート全土を制圧。外務省によると、このときの在留邦人はイラクに231人、クウェートに278人の計509人。クウェート在留日本人はイラクのバグダッドへ移送され軟禁、「人間の盾」として配置された。

60社を超える日本企業の駐在員と帯同家族が死と隣り合わせの経験を余儀なくされたこの事件の与えた衝撃は大きかった。海外安全対策を強化しなければならないという意識が企業の間を高まったことを受け、1992年、日外協は「海外安全センター」を発足させた。

以来、「海外安全講演会」「海外安全部会」を通じた最新情報の提供、情報交換の場・プラットフォームとしての「海外安全グループ研究会」（東京、中部、関西）の開催など、企業の海外安全・危機管理を支援するための様々な取り組みを行ってきた。

海外安全センターが発足直後に会員企業を対象に実施したアンケート調査によると、「海外安全のための常設組織・担当者あり」と回答した企業は18%、「組織はないが担当者（兼務）あり」が21%と、合計しても4割に満たなかった。それが直近の2021年度の調査では、それぞれ39%、42%と、合わせて8割を超えるまでに。企業の海外安全対策は着実に強化されている（次ページグラフ）。

とはいえ、海外では先進国・途上国を問わず思わぬ事件や事故、自然災害などのトラブルに巻き込まれるリスクが大きくなる。

海外駐在員や帯同家族、出張者の安全をいかに確保するか。海外安全・危機管理にゴールはない。

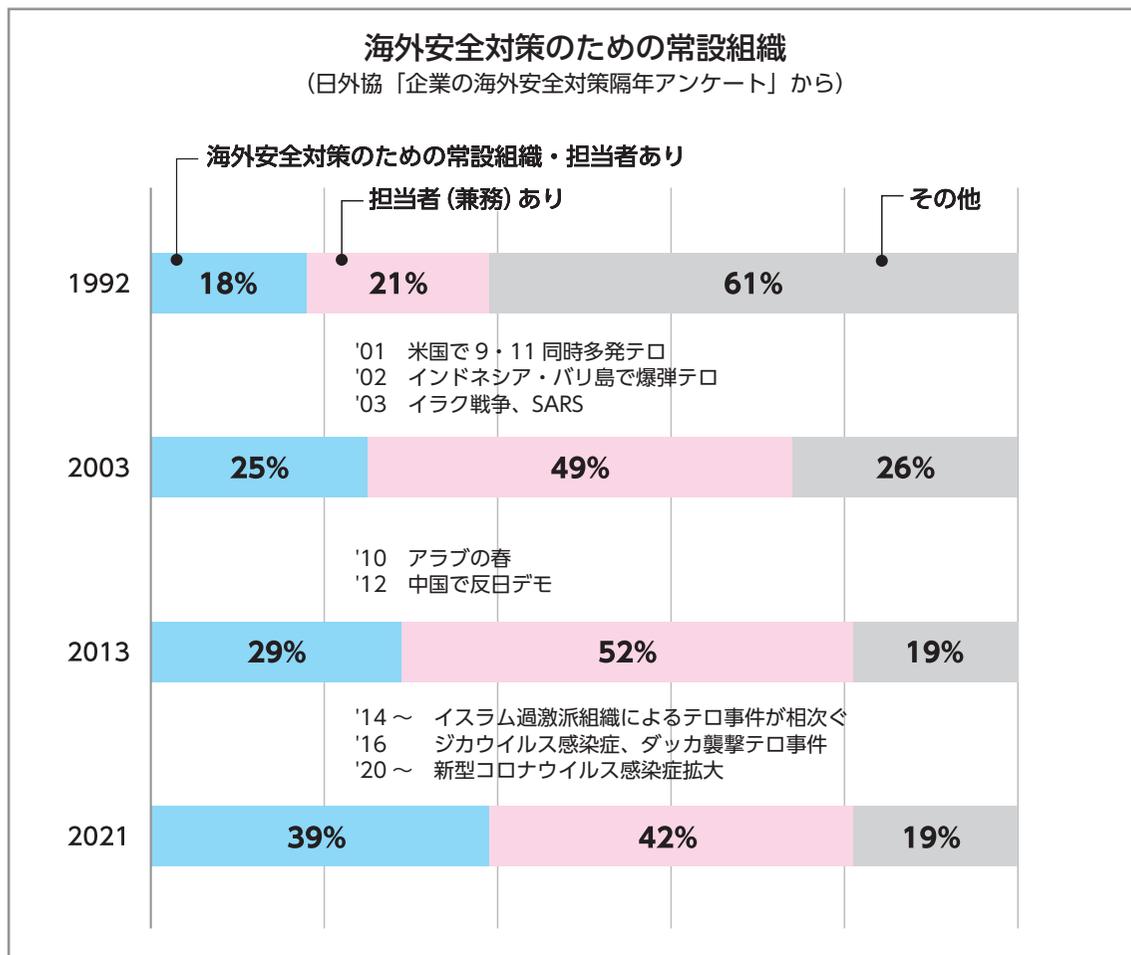
## 海外における日本人・企業の主要事件・事故

相次ぐ国家間の戦争、内戦、テロ、銃乱射、誘拐……。自然災害や感染症も後を絶たない。そのとき企業は、日外協は。

### 主な事件・事故 (赤字は日外協の取り組み)

#### 1970～80年代

- '78 5月 エルサルバドルで日系現地法人社長が誘拐され殺害
- '81 **有識者と企業委員による「海外安全研究委員会」**
- '82 11月 コスタリカで日系現地法人社長が警察官と誘拐犯の銃撃戦で被弾し死亡  
**報告書『海外派遣者の安全問題に関する事例研究報告』**
- '83 **『海外で安全を確保するための提言』を政府に提出**
- '85 3月 イラン・イラク戦争激化。邦人国外退避
- 6月 成田空港で手荷物爆発により空港職員 2 人死亡。インドの過激派組織が関与
- '86 5月 スリランカ・コロンボ空港で爆弾事件。邦人 2 人を含む 21 人死亡
- 11月 フィリピンで商社のマニラ支店長誘拐。4 カ月後に無事解放
- '87 3月 ペルーで日系銀行リマ支店爆破
- '88 12月 パンアメリカン航空機英国上空爆破事件で邦人 1 人死亡
- '89 6月 中国天安門事件。邦人国外退避



主な事件・事故 (赤字は日外協の取り組み)

1990年代

- '90 8月 イラク軍クウェート侵攻。邦人多数が人質  
第1回「海外安全対策に関するアンケート調査」(以後、隔年で実施)
- '91 1月 湾岸戦争。周辺地域の邦人国外退避  
「湾岸危機を契機とする緊急提言」を政府に提出
- '92 4月 英国・ロンドン・金融街シティで爆弾テロ。邦人19人負傷  
「海外安全センター」発足  
米国に「海外安全調査団」派遣  
「在外邦人のための緊急時支援体制整備に関する要望書」を政府に提出
- '93 2月 米国・世界貿易センタービル爆破事件。6人死亡、1000人以上が負傷
- '95 1月 阪神淡路大震災  
 3月 地下鉄サリン事件  
 11月 在パキスタン・エジプト大使館爆破。17人死亡。近くの日本大使館の邦人職員3人を含む約60人負傷
- '96 8月 家電米国法人の社長がメキシコで誘拐  
 12月 ペルーで日本大使公邸人質事件。127日間にわたり日本人24人を含む71人が人質として拘束
- '97 10月 スリランカ・コロomboのホテル駐車場で自動車爆弾テロ。8人死亡、邦人7人を含む約100人が負傷  
 11月 エジプト・ルクソールで外国人観光客に対する銃乱射襲撃テロ事件。邦人10人を含む62人死亡  
「ペルー日本大使公邸人質事件を契機とする提言」を発表
- '98 8月 ケニア、タンザニアの米大使館同時爆破テロ。220人以上死亡、邦人も1人軽傷  
「海外赴任前セミナー」がスタート
- '99 3月 ユーゴスラビアへNATO軍が空爆。邦人国外退避



湾岸戦争 (AFP = 時事)

2000年代

- '00 「海外安全アドバイザー制度」創設
- '01 9月 米国でアルカイダによる9・11同時多発テロ。邦人24人を含む約3000人死亡  
 10月 米・英軍によるアフガン報復攻撃。周辺地域の邦人国外退避
- '02 10月 インドネシア・バリ島で爆弾テロ。邦人2人を含む約200人死亡  
 10月 コートジボワールで内戦。邦人国外退避
- '03 3月 米・英軍がイラクを攻撃、イラク戦争開始。イラクおよび周辺地域の邦人国外退避  
 4月 SARS(重症急性呼吸器症候群)がアジアを中心に流行  
「海外安全グループ研究会」発足
- '04 1月 鳥インフルエンザがアジアを中心に流行  
 3月 スペイン・マドリードで列車爆破テロ。死者191人、負傷者約2000人  
 9月 インドネシアでオーストラリア大使館前爆破テロ。10人死亡、邦人1人を含む180人負傷  
 10月 イラクで邦人人質・殺害事件。イスラム過激派による犯行  
 12月 インドネシア・スマトラ島沖地震・津波で死傷者35万人以上。邦人40人死亡、2人行方不明
- '05 4月 中国で反日デモ。北京、上海、広州、瀋陽の各在外公館に被害  
 7月 英国・ロンドンで同時爆破テロ。死者52人、負傷者700人以上。邦人も1人負傷  
 10月 インドネシア・バリ島で同時爆破テロ。邦人1人を含む20人死亡  
「シミュレーションセミナー」実施(2010年まで。16年に再開し年1回実施)  
「海外赴任者の健康と医療」発行(初版、21年第5版発行)
- '06 9月 タイで軍事クーデター  
 12月 タイ・バンコクで連続爆弾テロ
- '07 6月 アフガニスタン・カブールで爆弾テロ。NGO邦人2人負傷  
 9月 ミャンマーで反政府デモを取材中の邦人カメラマンが銃撃され死亡
- '08 5月 中国四川大地震  
 11月 インド・ムンバイで同時多発テロ。邦人1人を含む約170人死亡
- '09 4月 メキシコで豚インフルエンザ発生。邦人家族多数帰国  
「海外安全・危機管理認定試験」開始(管理者向け年2回)(2013年から責任者向け年1回実施)

2010年代

- '10 3月 タイ・バンコク中心部で激しい反政府活動が約2カ月続く。邦人カメラマン1人死亡  
 4月 アイスランド噴火。欧州の航空網マヒ  
 11月 北朝鮮が韓国の島に砲撃・朝鮮半島情勢緊張

- '11 1月 チュニジアで「ジャスミン革命」、ベンアリ政権崩壊。邦人国外退避  
「アラブの春」、反政府運動がアラブ世界に波及
- 2月 エジプトでムバラク政権崩壊。邦人国外退避
- 2月 ニューージーランド・クライストチャーチでM6.3の地震。死者180人以上、うち邦人死者28人
- 3月 東日本大震災
- 10月 タイ中心部における大洪水で日系企業約450社が被災。邦人家族一時帰国
- '12 7月 インドの日系自動車会社で従業員が暴動。死者1人、邦人2人を含む約100人負傷
- 8~9月 尖閣諸島問題により中国各地で大規模な反日デモ。日系企業、邦人にも被害  
**『海外赴任者・出張者の安全マニュアル』発行（初版、16年改訂第2版発行）**
- '13 1月 アルジェリアの天然ガスプラントをイスラム武装集団が襲撃。邦人10人を含む外国人40人死亡
- 4月 中国でH7N9型鳥インフルエンザ患者が発生。その後、感染拡大
- 7月 エジプトで軍によるクーデター。邦人の渡航延期、家族国外退避  
**『海外安全センター・ブレティン』発行（毎月発信）**
- '14 3月 ロシアがクリミアを一方向的に自国に編入し、ウクライナ危機が深刻化
- 6月 イラクで「イスラム国」が勢力拡大。バグダッドから邦人退避
- 8月 ギニア、リベリア、シエラレオネでエボラ出血熱の感染者数が増大。一部邦人国外退避
- '15 1月 イスラム過激派の2人組が仏政治週刊紙のパリ本社を襲撃し、編集長ら12人を殺害
- 1月 シリアで「イスラム国」が日本人2人を拉致し殺害
- 3月 チュニジアでイスラム過激派武装集団2人組が博物館を襲撃。邦人3人を含む22人死亡
- 6月 韓国で中東呼吸器症候群(MERS)の感染者が死亡。感染拡大
- 8月 タイ・バンコクの繁華街で爆弾テロ。20人死亡、邦人1人含む140人以上負傷
- 11月 フランス・パリで「イスラム国」による同時多発テロ。130人死亡、300人以上負傷
- '16 1月 インドネシア・ジャカルタで「イスラム国」による爆弾テロ。4人死亡
- 2月 中南米でジカウイルス感染症が拡大、WHOが緊急事態宣言
- 3月 ベルギー・ブリュッセルで「イスラム国」による空港、地下鉄連続爆弾テロ。32人死亡、邦人2人含む約360人負傷
- 6月 トルコ・イスタンブールのアタチュルク国際空港をイスラム武装集団が襲撃。45人殺害、230人以上負傷。空港に居合わせた邦人は無事
- 7月 バングラデシュ・ダッカの高級レストランをイスラム武装集団が襲撃。邦人7人を含む20人以上死亡
- 7月 フランス・ニースで花火の見物客に大型トラック突入テロ。86人死亡
- 8月 タイの中部と南部の少なくとも9カ所で、断続的に爆弾事件。4人死亡
- 12月 ドイツ・ベルリンのマーケットで大型トラック突入テロ。12人死亡、50人以上負傷
- '17 4月 ロシア・サンクトペテルブルクの地下鉄内で爆弾テロ。15人死亡
- 4月 スウェーデン・ストックホルムのデパートでトラック突入テロ。4人死亡
- 5月 英国・マンチェスターのコンサート会場で自爆テロ。22人死亡
- 6月 英国・ロンドンの中心部で、歩道を車で暴走後、刃物で襲撃。8人死亡
- 8月 スペイン・バルセロナ中心部の通りで車両突入テロ。14人死亡
- 10月 米国・ラスベガスの屋外コンサート会場に向け銃乱射。60人死亡
- '18 5月 インドネシア・スラバヤで3件の連続自爆テロ。2件とも「イスラム国」に感化された家族ぐるみの犯行
- 11月 フランスで大規模抗議デモ
- '19 1月 ケニア・ナイロビの高級ホテル襲撃。21人死亡、オフィス棟にいた日系企業の駐在員は全員無事
- 3月 ニューージーランド・クライストチャーチで銃乱射。51人死亡
- 4月 スリランカで同時多発テロ。邦人1人を含む250人以上死亡

## 2020年代

- '20 1月 中国・武漢で新型コロナウイルス感染症拡大。その後、世界的に流行  
**セミナー、講演会、海外安全グループ研究会をオンライン化**
- '21 2月 ミャンマーで国軍がクーデター。全土で抗議デモ。邦人国外退避
- 8月 アフガニスタン政権をタリバンが掌握。日本大使館職員は近隣国へ退避
- '22 2月 ロシアによるウクライナ侵攻。ウクライナ、ロシアから邦人国外退避
- 5~7月 米国・ニューヨーク州、テキサス州、イリノイ州で銃乱射。死者多数
- 7月 安倍晋三元首相が奈良での遊説中に銃撃され死亡  
**海外赴任前セミナーの受講者が累計4000人を突破**



ロシアのウクライナ侵攻  
(SPUTNIK / 時事通信フォト)

(2022年7月31日現在)

(出所：主要事件・事故は日外協『海外安全・危機管理 認定試験 受験用テキスト』の巻末資料を元に作成)